

施工前に必ずお読みください

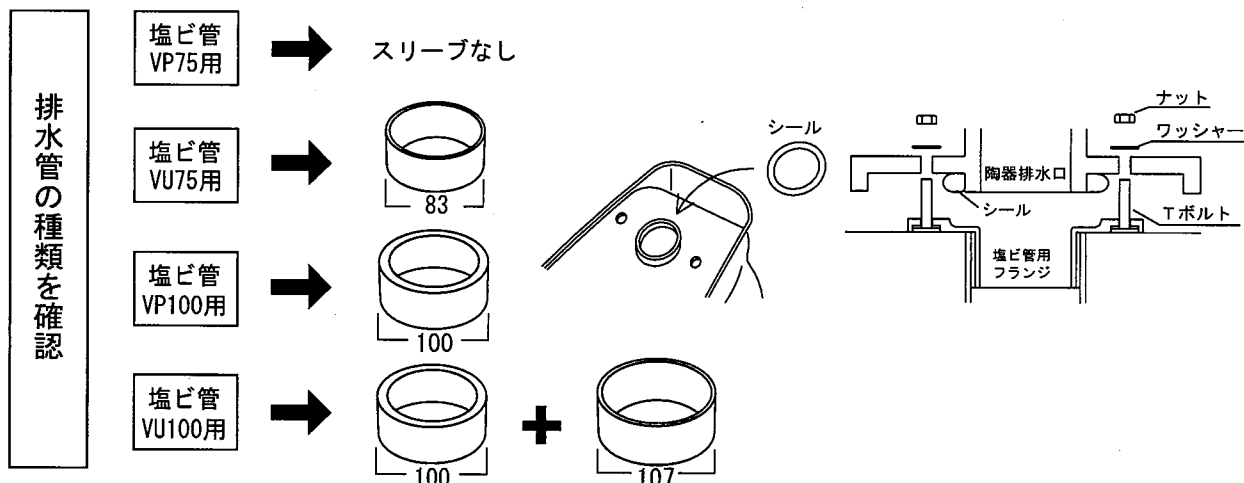
セット内容

フランジ本体、VU75用スリーブ、VP100用スリーブ、VU100用スリーブ、シール止め金具一式(ステンレス4本、Tボルト、ナット、ワッシャー各2個)

施工要領

排水管の寸法によって使用するスリーブの種類が異なりますのでご注意ください。

1. 排水管の寸法を確認し、床仕上面で切断し、バリを取ってください。
2. フランジ、固定用ビスの位置決めをしてください。
3. 大便器の指定位置への据付確認をしてください。
4. フランジにTボルト、ワッシャー、ナットを仮付けしてください。
5. 各排水管の種類に合わせて下図のようにスリーブを使用してください。
スリーブを使用する際は、スリーブ、フランジ共に塩ビ用接着剤を塗ってください。
スリーブを使用しない場合(VP75用塩ビ管に接着)は、フランジに塩ビ用接着剤を塗ってください。
6. Tボルトをはめた状態で、フランジを排水管に差し込み接着し、付属のビスでフランジを床止めしてください。
7. 大便器の排水口部にシール材を取付けてください。
8. 大便器をフランジにシール材を馴染ませながら据付けてください。
9. Tボルトをワッシャー、ナットで締め大便器を固定してください。



- ・壁排水便器(P型)には使用できません。
 - ・排水管はVP・VU75、VP・VU100を配管してください。
 - ・製品を改造したり、加工等しないでください。
 - ・フランジとスリーブを接着する際は必ずスリーブの種類、接着向き(径の大きい方が上)を確認してください。
 - ・スリーブを使用する場合は、フランジにスリーブを接着してから排水管に取り付けて下さい。
- ・排水管のばらつきによりフランジとの接着剤塗布面に隙間が生じる場合は、高粘度(ゲル状)の塩ビ管用接着剤を使用してください。
(接着が不十分な場合、漏水や臭気上りの原因となります。)
 - ・大便器排水口外周のごみや水、油分を取り除きシール材を取り付けてください。
 - ・フランジ面も同様です。
- ・フランジにシール材を取付けると排水管内へはみ出し排水機能を阻害します。
(必ず、陶器に取付けてください。)
 - ・フランジ用シール材と他のシール材(シリコン等)との併用はしないでください。
接着不良による漏水の原因となります。

